記 者 発 表 資 料

平成20年6月17日
国土交通省 東北地方整備局

平成２０年岩手・宮城内陸地震により発生した天然ダム（河道閉塞）箇所における直轄砂防災害関連緊急事業の実施

岩手・宮城両県知事からの要請をうけ、国土交通省は現地調査の結果に基づき、決壊や氾濫のおそれが特に高い天然ダムについて、直轄砂防災害関連緊急事業により、地域の安全・安心確保のための工事を実施します。

直轄砂防災害関連緊急事業実施箇所　３箇所　24.8億円

岩手県一関市（いちのせきし）
　北上川水系磐井川（いわいがわ）流域　市野々原（いちののはら）地区　10.7億円

宮城県栗原市（くりはらし）
　北上川水系迫川（はさまがわ）流域　浅布（あさぶ）地区　4.7億円
　小川原（おがわら）地区　9.4億円

【実施内容】
大型土のう、河道掘削、排水ポンプ、護岸工　等

本発表は、国土交通本省においても発表
（発表記者会）宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

（問い合わせ先）
東北地方整備局　河川部　河川調査官　久米　英輝
住所　仙台市青葉区二日町９－１５
電話　０２２－２２５－２１７１（内３５１３）

直轄災害関連緊急砂防事業の実施箇所位置図



【栗原市小川原（おがわら）地区】



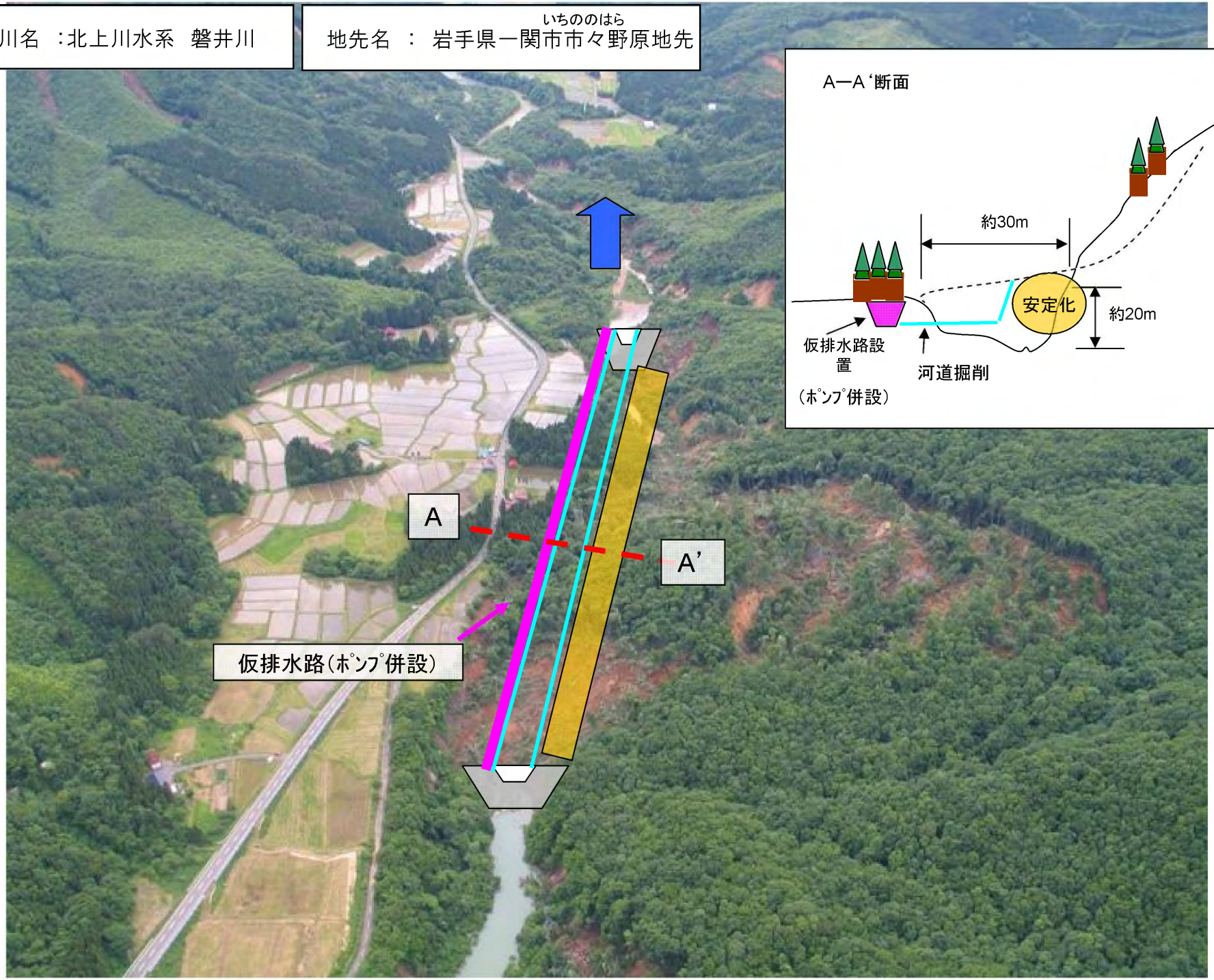
【栗原市浅布（あさぶ）地区】



【一関市市野々原（いちののはら）地区】

河川名　：北上川水系　磐井川

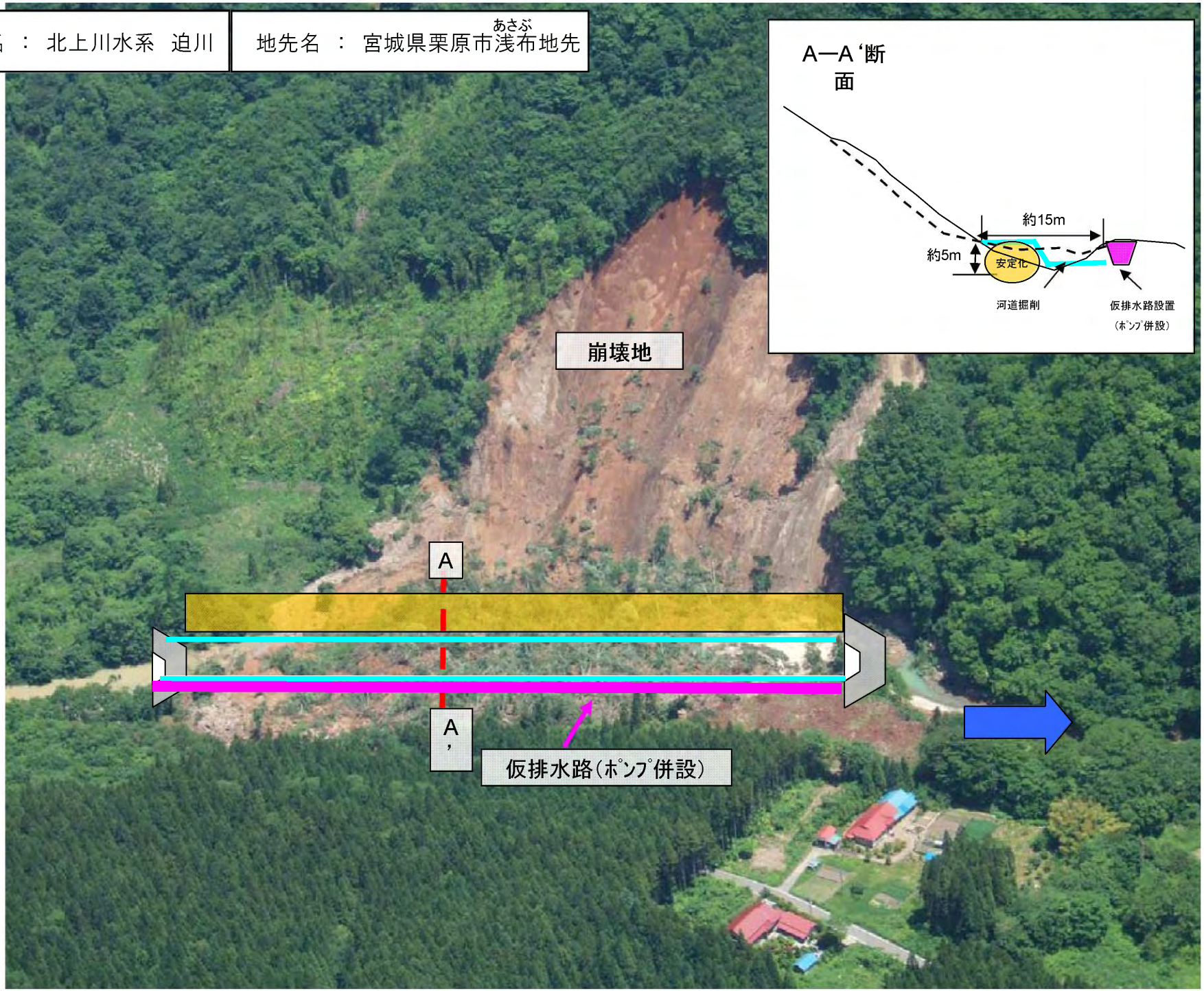
地先名　：　岩手県一関市市々野原（いちののはら）地先



A—A‘断面

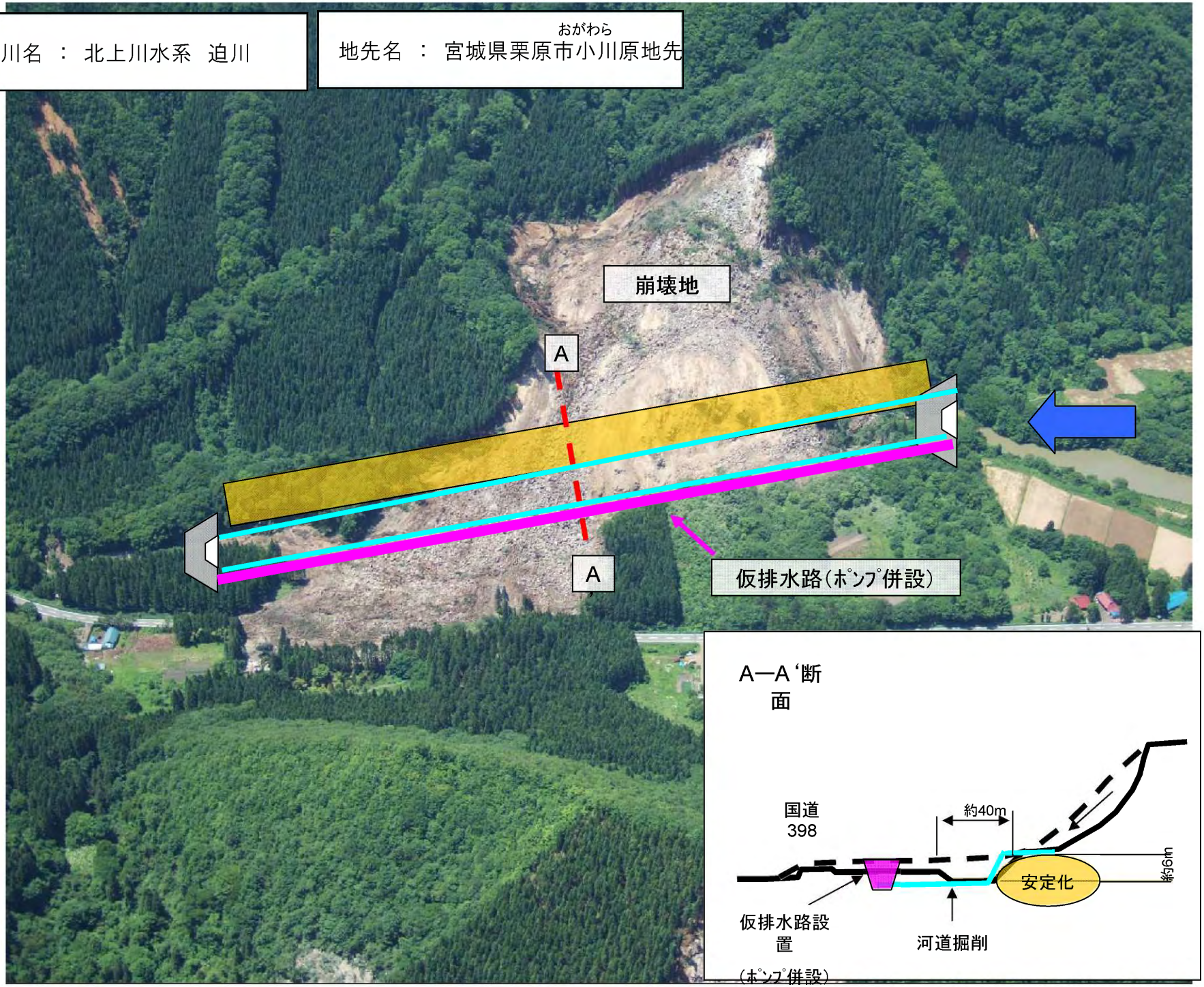
河川名 ： 北上川水系 迫川

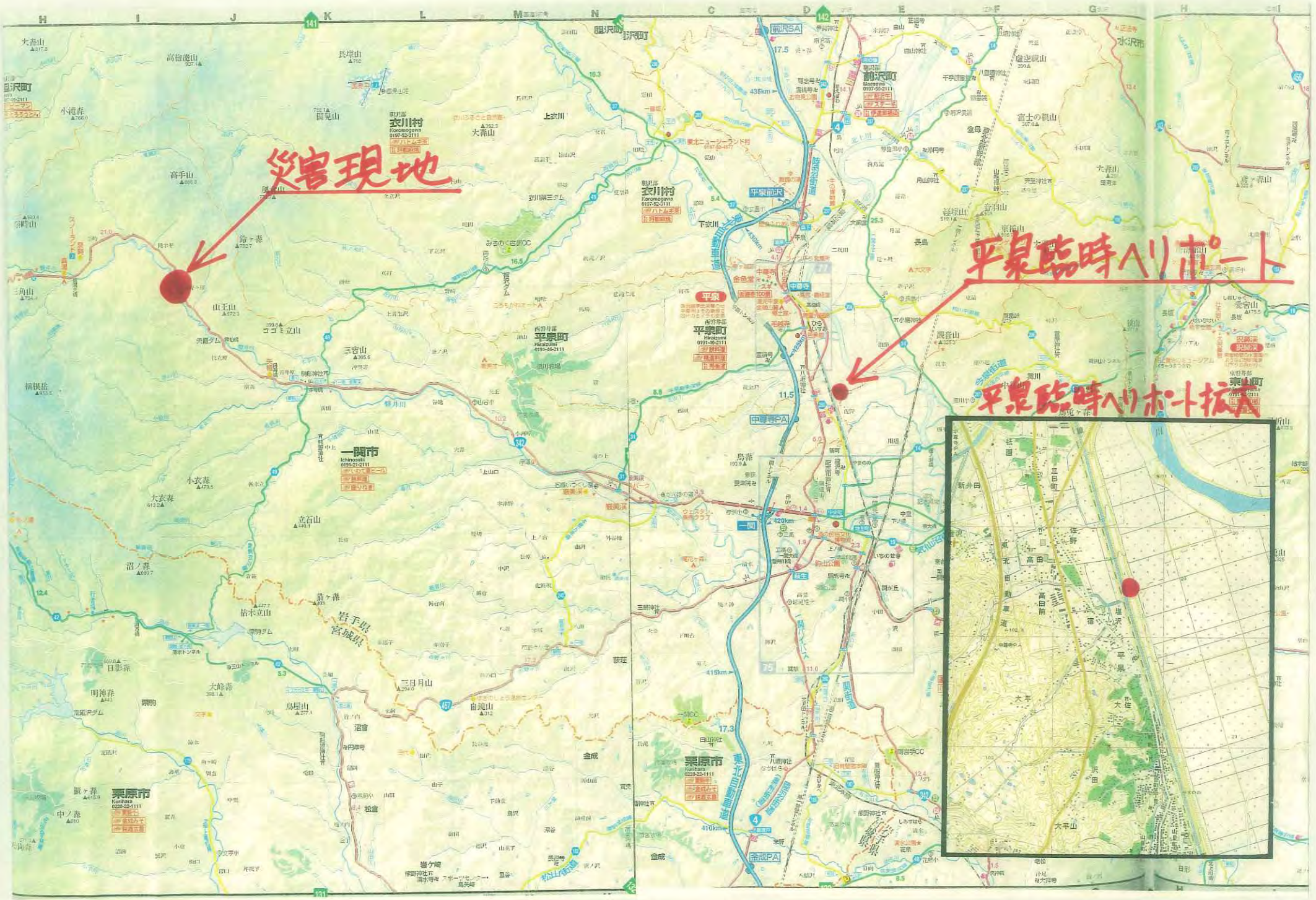
地先名 ： 宮城県栗原市浅布（あさぶ）地先



河川名 ： 北上川水系 迫川

地先名 ： 宮城県栗原市小川（おがわら）原地先

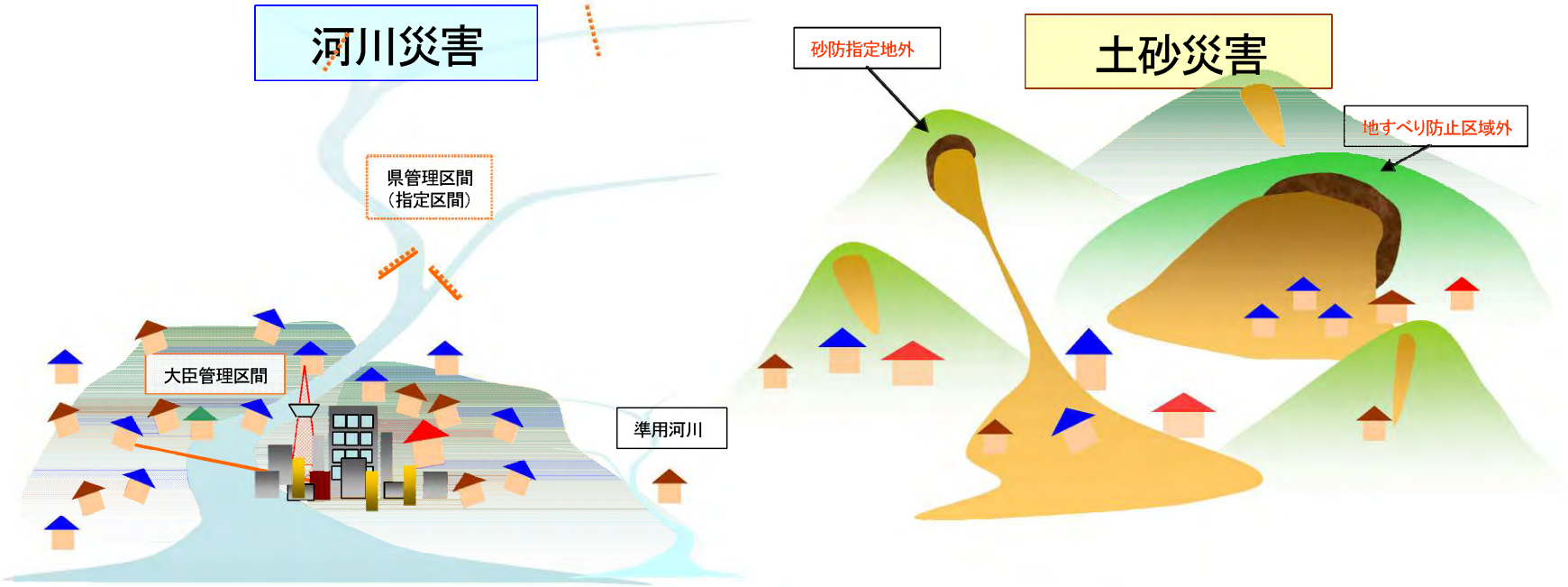



災害現地
平泉臨時ヘリポート
平泉臨時ヘリポート拡大
一関市
平泉町
衣川村
前沢町
栗原市
岩手県
宮城県
一関
平泉
中尊寺PA
金成PA
東北自動車道

参考

土砂災害の特徴

土砂災害と河川災害との比較



河川災害のキーワード

○河川の範囲内で生じる現象

　河川以外での災害はない　→　どちらかと言えば閉鎖系

○時間的猶予がある（ex:降雨→増水→災害）

○被害の範囲が広大

○素因・誘因が限定的（降雨）

土砂災害のキーワード

○砂防法2条・6条地域以外でも発生

　斜面があれば災害活性の蓋然性→どちらかと言えば開放系

○突発的（ex:地震→災害、降雨→土石流等）

○死者行方不明者の発生確率が高い

○素因・誘因が多様（降雨、地下水の増加、地震、地形・地質等）